

進路の学習【3】

2学期の見通し

令和2年9月9日(水)

この資料を、保護者の方に必ず見せて、進路について話しましょう。

2学期が始まりました。9月10日(木)には、これまでの学力の真価が問われる学力テスト総合Aが行われます。夏休みから取り組んできた成果をここで十分に発揮してくれる事と期待しています。これからのテストに向けた心構えとして、大切なのは入試本番と同じ気持ちでのぞむという姿勢です。(学力テストには、実力の判定はもちろんですが、テストという状況になれるという側面もあります。ストレスやプレッシャーの中で、どれだけ平常心を保って自分の実力を発揮できるかといったメンタルの訓練や体調の管理といった観点からも入試本番と同じように考えてのぞんで欲しいと思います。)

今後は学力A・B・Cとテストが連続し、まさにテストに追われる日々が続くことになります。プレッシャーに負けず目標をしっかり持って、計画的に進めていきましょう。また、テストが終わったら必ずやる事、それはこのテストの結果から今後とくに重点的に取り組むべきことは何かをしっかりとつかみ、自分から取り組んでいくことが大事です。(何度テストをやっても、やりっぱなし・終わったらそれっきりでは…。) 結果にはすべて原因があります。その原因を自分がしっかりと認識しない限り進歩は望めません。「しっかりと反省」→「弱点の確認」 その上で取り組みの立て直しをはかって欲しいと思います。

2学期のこれからの時期は、修学旅行の取り組みや学力テスト、定期テストに向けた準備を同時進行で行わなければなりません。それだけに健康の管理、「イソガシイ」と感じる時間の中での気持ちの切り替えや落ち着いた行動、短時間でも集中力を保つこと等が今まで以上に大切になります。

さて、この学習に向けた取り組みと同時に、自分の進路先についての研究にもしっかりと取り組んでいるでしょうか。1学期の『進路の学習』の中で、この研究の意義や必要性また方法や手だて、そして考え方について学習しました。これをもとに自分自身の研究にしっかりと取り組んで来ていますか。夏休みの期間中に行われた見学会や説明会には、白石中学校から多くの生徒が参加しました。2学期に入ってから多くの学校で見学会や説明会が予定されています。実際に自分の目で確かめ、自分でしっかり研究しようとする意欲を持った生徒が多くいることを喜ばしく、また誇らしく思います。進路先の決定までは、もうそれほど長い時間は残されていません。

だからこそ、**『自分で十分に研究し、考えた結果の決定である。』**
と思える進路先の決定ができるようにしていきましょう。

今回の『進路の学習』では、現在までの進路についての取り組みを振り返るとともに、今後進路先の決定に向けて取り組む事柄には、どのようなことがあるのか。またそれが今後どのような日程で行われていくのかを確認していくこととなります。これからの自分の生活の見通し、軌道修正を計りながら今後を過ごすためにも、しっかりと頭に入れておきましょう。

1. 進路先を選択する時に、考えなくてはならないこと

進路先の選択をする場合のポイントは、そのまま、自分が進路先を研究する場合の判断基準となります。現在、進路希望では、進路未定者をのぞき、ほとんどの生徒が高校進学を希望していますが、この高校を選択する場合で考えると下のようになります。

- ① どんな高校生活を期待し、在学期間に何をめざして努力するのか。
- ② 高校卒業後の進路について、どこまで具体的に考えているか。
- ③ 志望する高校は、普通科または職業・専門科。決めた理由は、はっきりしているか。
- ④ 志望する高校で自分の力を伸ばしていけるか。
- ⑤ 志望する高校への合格の可能性は、どれくらいか。
- ⑦ 通学の条件は。
- ⑧ 入学金・授業料などの経費の面は。
- ⑨ 第1希望、第2希望の考え方は、しっかりしているか。

以上のことについては、自分だけの研究では十分に深められない面があります。自分を理解している保護者の方や担任の先生からのアドバイスを受けることも大切です。1学期にも話しましたが、これについても、自分から積極的に相談する姿勢が大切です。

2. 二学期の進路日程は

月 日	おもな行事	進路の動き	進路学活（進路の学習）
9月10日	学力テストA	進路先の研究（体験入学会への参加など） 実力養成への取り組み （学力Aの反省を生かす）	9/9進路の学習【3】…2学期の見通し（日程）の確認 9/14第3回進路希望調査 9/24第3回進路希望調査提出〆切
9月17日～ 9月19日	修学旅行		
10月5日	教育相談日～10/9	進路先の決定に向けた担任との相談活動 （最終決定の期末懇談まで随時行われます。） 後期学級委員選出開始	進路の学習【4】…公立高校入試／推薦入試について 10/20第4回進路希望調査
15日	学力テストB	後期学級委員選出完了	10/28第4回進路希望調査提出〆切
11月2日	推薦について案内	11/9 推薦受付〆切	
11月6日 7日	授業参観 学級PTA 学力テストC 進路用写真撮影	進路用写真撮影 入試の願書に添付される写真の撮影を行います。きちんとした身なりで撮ることはもちろん、その心構えをしっかり持つことが大切。	11/17第5回進路希望調査 進路の学習【5】…私の公式記録 願書等に記載する正式な名前や住所・本籍や中学校での活動歴 部活動での記録など必要なことを記入するので調べておく。
12月	第Ⅲ期時間割開始		11/24 第5回進路希望調査提出〆切 この調査で願書を取り寄せます。 進路の学習【6】…面接と出願変更について 願書記入について・出願変更についての学習が行われます。
10日	期末懇談①	進路先（出願先）の確認終了	12/2 進路の学習【7】手続きの確認／願書の下書き練習（公立） 進路の学習【8】願書の下書き練習（私立） 進路の学習【9】願書の下書き清書点検（公立／私立） 私立単願願書配布→終業式に提出
11日	期末懇談②		
14日	期末懇談③		
15日	期末懇談④		
16日	期末懇談⑤	「出願手続き依頼書」の提出 本人・保護者に代わって出願手続きを学校が行うことへの同意書です。これにより出願先が確定します。	「出願手続き依頼書」提出〆切
25日	終業式		公立私立願書配布→始業式に提出

3. これからの生活や学習について

2. で見たように進路先の決定に向けた取り組みが、短い期間の中でこれから行われていきます。ですから、限られた時間を有効に使って過ごしていくことが非常に大切になります。当然ですが、こうした期間をどのように過ごしたかによって、進路それ自体が大きく変わっていく場合が多々あります。それは、学習だけに限ったことではありません。生活についても同様でしっかりとした自覚が必要です。自分を甘やかした者は、結局、目的を見失う結果になってしまいます。自己に厳しく目標を持った生活を送ることが何より大切です、きちんとした生活の中でこそ集中した学習が可能になるのです。こうしたことを自覚した上で、今後の生活をどのようにしたらよいのかを考えてみましょう。

☆ 学習について

① 授業を大切にす

何度も話をしていますが、勉強の中心は、まず授業です。ここで集中し、しっかり取り組みなければ、他でいくら学習してもその成果は少ないです。今学習している項目は、授業で全て頭に入れるというぐらいの気持ちで授業に臨むことが必要です。

例年、この授業に取り組む生徒の顔つきで、受験の結果が大体想像できるとも言われています。また、休み時間や自習時間なども貴重な学習時間として利用できるはずで

② 家庭学習の充実

自分で取り組む家庭学習の取り組みは、先ほど言った自分に対して甘いのか厳しいのかが、はっきり現れる部分です。自分を甘やかさない強い意志が必要です。

家庭学習は、決まった時間に行うことが基本です。そのためには、生活のリズムを整えることも重要です。夜型の勉強をしている人は、早い時期に（最低でも受験の1ヶ月前には）早寝早起き型の生活に切り替えていく必要があります。なぜなら、朝目覚めてから脳が活発に活動を開始するためには最低2時間はかかると言われています。また、朝食をきちんと取ることで脳へのエネルギーの補給が行われます。さらに、学習環境（机上整理など）を整えたり、適度に休憩をとることも大切です。1時間おきに10分程度の休憩や仮眠（注…仮眠は1時間以内とすること）等。

③ 学習内容

受験といっても何も学んだことのない特別な問題ができるわけではありません。ですから、今までの学習内容を丁寧に学習していけば、充分対応できるはずで

☆ 健康管理について

これから勉強は、ますます忙しくなりますが、ともすると健康管理が見逃されがちになります。しかし、本番で自分の実力を100%出し切るには、今から心と身体

を健康を保ちながら生活していくことが大切です。第一に、睡眠・食事・排便・運動・学習・休養といった生活のリズムを整えることが大切です。今はまだ夜型の生活をしている人が多いと思

いますが、朝の寝覚めが悪く、朝食や排便の時間もないまま登校し学校で体調を崩す、そんな人が少なくな

いと思

4. 進路先の研究について

進路の学習【2】の中で、進路先の研究への取り組み方を学習しましたが、その研究は順調に進められているでしょうか。こうした自分の研究をもとに、まもなく、進路先の決定を行うこととなりますが、ここまでの自分の研究をまとめ、それをよく検討することが大切です。今までの体験入学や学校説明会、パンフレットなどの資料などから研究したことを別紙にまとめてみましょう。

体験入学・高校説明会・見学会に参加して！（過去に参加した先輩の作文より…）

《 札幌啓成高校 》

僕にとって札幌啓成高校は、自分の夢に近づける高校だと思っています。それは、学力もけっこう高いし、学校は、とてもきれいで僕の大好きなサッカーのグラウンドの設備もとても良かったからです。ちなみに僕の夢は、サッカー関係の仕事につくことです。その夢に近づけるのは、やっぱり札幌啓成高校だと思います。しかし、今の僕の学力では、少し難しい学校でもあります。けど他の行けそうな学校などに行くなど甘い気持ちをもってあきらめるのではなく、というか、そんな気持ちじゃ、どこの高校にも入れないと思います。だから、そんな気持ちなどは捨てて、今までよりもっともっと学校の授業にしっかり参加して、もっともっと自分の勉強に取り組んで、唯一の自慢であるサッカーも、もっともっと磨いて、札幌啓成高校に入学し、自分の夢に近づける一歩を踏み出したいと思いました。そういうことなどを感じた札幌啓成高校の学校説明会でした。これからも全力で努力していきたいと思っています。

《 北広島高校 》

今回、北広島高校に行き、説明会や授業見学に参加した。僕が目でわかったことは、あたり前の事を大切にしているということです。どういう意味かと言うと正しく制服を着ることや、授業に熱心に取り組むことです。ここの高校生は、ネクタイをきちんとしめ、ボタンの第二ボタンもあけず、頭髪もよかった。また、あたりまえことができるから、落ち着いた勉強空間を作ることができるのだと思う。そして、僕は、きちんとした校則があり、それにより、熱心に授業に取り組める。やはり、こういうことは欠けてはならないと思った。さて、そんな、熱心な生徒をサポートする先生はというと、説明会では、熱心だと言っていた。それは正しかった。先生も授業の内容を生徒に熱心に教えていた。生徒の勉強の質問であれば、いつでも、明確に教える。そういうことも行っていた。そういう高校だからこそ、高い進学率を持っているんだと思った。行く前は、あまり、志望校の視野になかったが、今回、見学、説明を受けたことで、考え直してみたいと思った。外からは、わからないことがたくさんあり、充実したものになりました。

《 札幌東高校 》

前回、東高を見に行ったときとは雰囲気がだいぶ違った。何が違ったかという、「活気」の差じゃないか、と思う。当然、平日に行われた東高説明会と休日の今回を単純に比べることこそ難しいが、「入ってきてほしい」と願う先輩方の気持ちの強さが、全く違った気がした。公立と私立の違いもあって、配られた本などにも差はあった。しかし、なににせよ、皆でつくられた説明というかんじで、その内容にも統一されたもの「勉強は大変だけど、こなしていれば力がつく」というのと、「部活も気を抜かない」という概念があってわかりやすかった。自分は、説明会だけ参加して部活の見学やその他のものを見ていなかったけど、それでも十分に高校の雰囲気がわかった。いた時間は短かったけど、「行きたい」と思える説明会だったと思う。これから他の可能性のある高校も含めて検討していきたい。

《 札幌旭丘高校 》

私が、旭丘高校の説明会に行った第一印象は、個性的です。私は、東高校と北高校の学校祭へ行って来たのですが、その二校に比べ、旭丘高校は、単位制やレポート書きなど大学の様なことを行う学校だそうで、大学に備える高校という面では、とても充実していると思いました。その上、合唱部の歌がとてもきれいで、聞かせて頂いた曲は英語の言葉遊びの歌だそうですが、とても言葉遊びの歌というレベルではなかったと思います。部活動も充実した感じで、高校というよりは大学への訓練場というイメージでした。ただ、気になったのが、登下校についてです。まず、円山公園駅ですが、見学会の生徒が多すぎてバスも臨時便を出しても間に合わず、母と来ていた私は、結局タクシーで行きました。見学会に参加した生徒が全員入学するわけではありませんが、朝は、特に混み合う時間帯なのに、登校時間に間に合うのか心配です。夏場は徒歩や自転車でもいいかもしれませんが、冬場はとても行けそうにないなという感じでした。その上、バスを降りても急な坂があり、特に冬場は滑るそうです。その点、登校時間に余裕のある地元の人でないと通えない気がしました。

《 札幌月寒高校 》

今回、月寒高校の説明会へ行って本当に良かったと思います。私は、月高は学力が合っているからという理由で、今まで第一志望にしてきましたが、今回のおかげで無駄な高校生活を送らずに済みそうです。まず、始めにあった模擬授業では、折り紙を使って図形についていろいろやりました。楽しそうな先生だなと思いながら三十分間過ごしました。そして、その後の説明、そこで私は志望校を迷いました。ダンスや吹奏楽部は楽しかったし、行事もわくわくするものがあったけど、月高が重要視していると思われる「自由」、何事も自分で決めてなす、私にはその「自由」というものがとても不安に感じました。私は、何事も自分で決めるということが苦手です。

一人の人の考えや見方が、その学校のすべてをあらわしているわけではありませんが、1つの参考となる考え方や見方として自分の進路選択に生かしてほしいと思います。

5. これからの4ヶ月…君はどっち？

☆ 生活について

これも何度も話をしていますが、すべての基本は生活がしっかりしていることです。これなくしては、自分が望むような学習の成果は得られませんし、満足する進路の実現もできません。受験の合否だけではなく、その後どこへ進もうともこれができるいない人は自分にとって不本意な生活や結果を味わうことが多いです。受験勉強の前に、まず自分をこうした目で見つめてみてください。

ちょっと強い子 (^o^) ← 《 心 》 → (>_<) ちょっと弱い子

《 9 月 》

最上級生としての自覚が身につく
学校祭を軸に生き生きと活動する
落ち着いた雰囲気身についてくる
時間を有効に使える
学習計画の再点検をする

学校生活のリズムに乗りきれない
学校祭の活動に協力しない
学習/生活に落ち着きがない
(時間が守れない、忘れ物が多くなる、
服装が乱れる、不要物を持ってくる、
友達とすぐトラブルになる)

《 10月 》

進路の方向が定まり生活が安定してくる
自習時間の活用が充実してくる
(努力する目標が明確になる)
行事の中でストレスを解消していく
(何事にも積極的に参加する)
良識を持って行動できるようになる

受験勉強に目を奪われ活動に非協力的
塾の時間に生活全体が拘束される
進路への不安から気持ちが安定しない
学習を投げ始める
「どうせ…」という言葉が好き
学級の雰囲気を壊す言葉が多い
行き場所を求めて落ち着きがない

《 11月 》

進路の話題をすることが多くなる
再点検する心の余裕がある
合格への強い意志が見られる
学習への自信が強まる
授業への参加態度が一層真剣になる
宿題を嫌がらない

廊下でブラブラする人の固定化が見られる
背伸びするため、進路が定まらない
急にガムシャラに勉強を始めたたりする
テストの点数やランクに極端にこだわる
(「もし」という言葉を好む)
宿題よりも塾の勉強に熱中する

《 12月 》

三者懇談の中で進路の最終確認をする
合否より内容に重点が置かれる
今後の努力目標が話題になる
卒業に向けての諸準備に取りかかる
冬休みの計画を立てる

冬休みに期待をつなぐ
話題は合否のみに集中する
一点(点数)にこだわる
余裕のない生活になる
自ら孤立しがちになる

そして、最後の冬休み

良いリズムに乗った生徒は、
この後、どんな変容を遂げるでしょうか

自信を失った生徒は、どんな気持ちで、
冬休みを迎えることになるでしょうか？

あなたの進路への取り組みは？

組 番 氏名

1. 今まで（夏休みを含む）進路先について研究・調査をした人は、何を利用しましたか。
あてはまるものに全て○をつけて下さい。

ア 進路のしおり イ 高校のパンフレット ウ 先生からの話 エ 先輩の話
オ 先輩からの便り カ 親の話 キ 体験入学会等 ク 友達の話
ケ 一般の雑誌 コ その他（ ）

2. 今までの研究・調査を通して学んだことや進路決定に向けて役立ったことは何ですか。

 <hr/> <hr/> <hr/>

3. これから研究・調査をする場合に、利用しようと思うものに全て○をつけて下さい。

ア 進路のしおり イ 高校のパンフレット ウ 専修学校資料 エ 求人情報
オ 体験入学会等 カ 先生との相談 キ 私立合同説明会 ク 先輩の話
ケ 親の話 コ 友達の話 サ 一般の雑誌
シ その他（ ）

4. これからの進路への取り組みで、あなたが努力しなければならない事は何か。
その努力目標を書いて下さい。

 <hr/> <hr/> <hr/>

5. 近くの生徒にこのワークシートを渡しコメントを書いてもらう。

 <hr/> <hr/> <hr/>
